

私たちと現代社会

学習1 私たちが生きる現代社会の特色

□現代の日本では、子どもの数が減少し、高齢者の割合が増えたことにより**少子高齢化**が進み、**少子高齢社会**となっています。高齢化が進んだことで、医療や**介護**などの制度に使われる費用が増える一方で、働く世代が減り、国や地方公共団体の収入が減少しています。また、**出産**や**育児**では、子どもを安心して生み、育てられる環境づくりが必要となっています。

□パソコン、スマートフォンやインターネットなど**情報通信技術 (ICT)**の発達によって、世界中の人々と自由にコミュニケーションをとったり、多様な情報を入手・発信したりすることができるようになっています。このように、現代では社会において情報が果たす役割が大きくなっていく**情報化**が進展しています。

□ビッグデータを処理できる**人工知能 (AI)**によって、私たちの生活や仕事に変化が出てくると考えられています。

□ソーシャル・ネットワーキング・サービス (**SNS**)を利用して多くの人と交流する場面が増えています。情報社会においては、情報を正しく判断して活用する能力である**情報リテラシー**や情報を正しく使う態度である**情報モラル**が求められています。

□現代社会では、**グローバル化**が進み、国境をこえて国・企業・人々が直接結びつくようになっています。国や企業の競争が加速すると、各国が競争力のある得意な産業に力を入れ、そうでない産業については輸入にたよるという**国際的な分業**を行うようになります。また、互いの文化を大切に**多文化共生**社会が求められています。

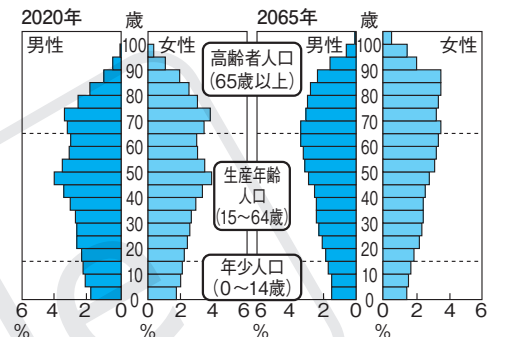
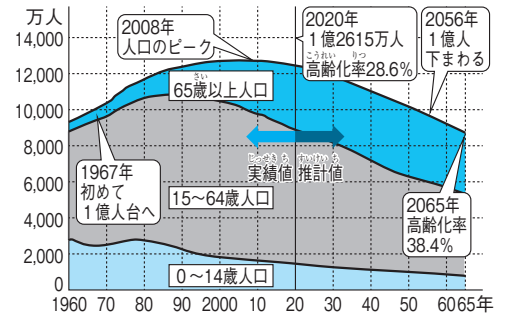
□感染症の世界的な流行などの国際的な問題については、**国際協力**のもと解決していく必要があります。

□さまざまな課題を解決していくためには、現在の世代だけでなく、将来の世代の幸福も満たす**持続可能な社会**をめざす必要があります。人々の生活環境は劇的に改善されましたが、工業化は**大量消費社会**を生み出しました。持続可能な社会をつくるためには、私たち一人一人の**社会参画**が重要となります。国際連合は国際社会で共通して取り組むべきこととして、**持続可能な開発目標 (SDGs)**を定めています。

学習2 現代社会の文化と私たち

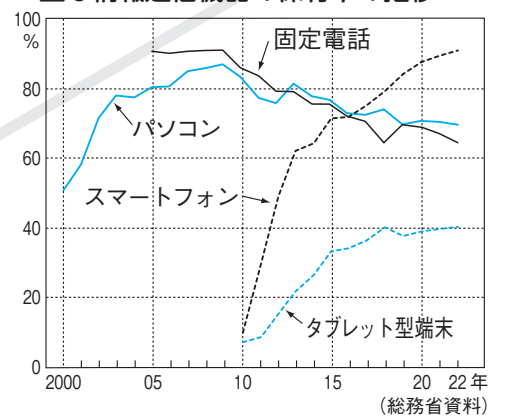
□**文化**は、人々が衣食住や道徳、スポーツ、他地域との交流などに

▼日本の年齢別人口の推移

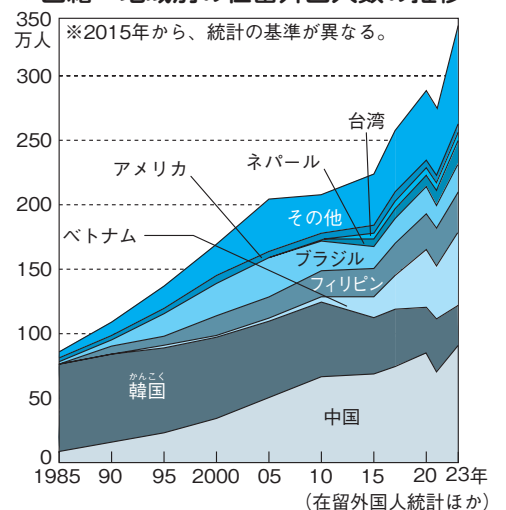


(国立社会保障・人口問題研究所資料ほか)

▼主な情報通信機器の保有率の推移



▼国籍・地域別の在留外国人数の推移



よって育て、伝え合ってきた生活様式や価値観などのことです。

- 文化には**科学**、**芸術**、**宗教**などの領域があります。科学による技術の発展は人々の暮らしを向上させ、芸術は感受性を高めて人生を豊かにし、宗教は困難も少なくない人の世に安心感や精神的な豊かさを与えてきました。
- 年中行事**や、能、歌舞伎をはじめとする芸能などは、長い歴史の中で生まれ、伝えられてきた**伝統文化**です。少子高齢化で存続が危ぶまれるものもあります。
- グローバル化が進む現代では、自分たちの文化と、ほかの国の人々の文化の違いを理解し、相手の文化を尊重することによって、文化の**多様性**を認め合うことが大切です。

学習3 現代社会の見方・考え方

- 私たちは、**家族**や学校、**地域社会**、**企業**、**国家**といった**社会集団**の中で生活しています。社会集団の一員として助け合い、尊重し合いながら生活を豊かにしていることから、人間は**社会的存在**であるといわれます。
- 家族は、最も基礎的な社会集団です。家族の形は多様化しており、現在では、親と子ども、あるいは夫婦のみの**核家族**が増えています。また、日本国憲法は家族に関する基本的な原則として「個人の尊厳と**両性の本質的平等**」を定めています。
- 私たちがともに社会で生活していくためには、**きまり（ルール）**をつくり、意見や利害の対立を調整する必要があります。
- 日本国憲法では、一人一人がかけがえのない存在であるという**個人の尊重**を強く唱えています。
- 社会に暮らす人々の間では、考え方や意見の違いから「**対立**」が起こることがあります。このような場合、私たちは**話し合い**などを通して**合意**をめざします。話し合いでは、全員一致よりも、より多くの人が賛成することをめざす**多数決**がよく使われます。
- 「合意」を形成するためには、「**効率**」と「**公正**」という2つの考え方に配慮することが大切です。

note 効率と公正

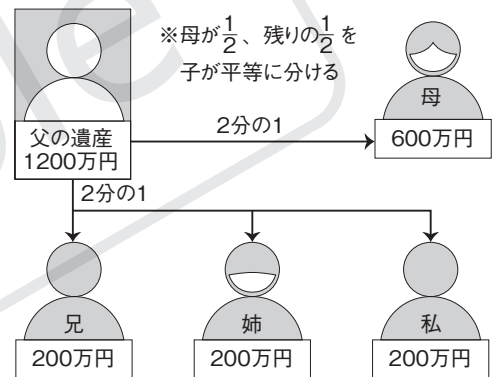
- ・効率…資源などがむだなく使われ、全体としてより大きな利益を得られるような結果にすること。
- ・公正…一部の人のために不利益にならないようにすること。

- みんなで決めたきまり（ルール）には、それを守る**責任**があります。人々が合意してきまりをつくることを「**契約**」といいます。きまりをつくる時には**権利**や**義務**を考慮することが必要です。

▼日本の主な年中行事

月	年中行事	二十四節気
1	初詣 七草	大寒
2	節分	立春
3	ひな祭り 春の彼岸	春分
4	花祭り (灌仏会)	
5	端午の節句	立夏
6	更衣	夏至
7	七夕	大暑
8	お盆	立秋
9	お月見 秋の彼岸	秋分
10	秋祭り 更衣	
11	七五三	立冬
12	大みそか	冬至

▼遺産の相続



▼決定を行う方法の例

	長所	短所
全員一致	全員が納得して決められる	決めるのに時間がかかることもある
多数決	意見を反映される人の数の方が多い	少数意見が反映されにくい
代表者が決める	全員で決めるより時間がかからない	全員の意見がうまく反映されないこともある
第三者が決める	決めるのに時間がかからない	当事者が納得しないこともある

確認問題

● 一問一答 ● 次の問いに答えなさい。

- (1) 高齢者の割合が増加し、子どもの割合が減ることを何というか。
一人の女性が生涯に生む子どもの数の平均を合計特殊出生率という。(1)
- (2) 情報通信技術の略称をアルファベット3字で何というか。
あらゆる物がインターネットを通してつながることをIoT(Internet of Things)という。(2)
- (3) 人間に代わって、コンピューターに学習や判断など、人間の知的な活動を行わせる研究や技術のことを何というか。(3)
- (4) 大勢の人が情報を互いに送受信できる、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略称をアルファベット3字で何というか。(4)
- (5) 情報を正しく活用して判断する力を何というか。
情報をあつかうときに求められる正しい考え方や態度を情報モラルという。(5)
- (6) 情報機器をもつ者ともたない者の格差のことをカタカナで何というか。(6)
- (7) 人、もの、情報、お金などが容易に国境を越えて移動することで世界の結びつきが深まるようになったことを何というか。(7)
- (8) それぞれの国が得意なものを生産し、貿易によって交換し合うことを何というか。(8)
- (9) 現在の世代だけでなく、将来の世代の幸福も満たすような社会を何というか。
工業化が大量消費社会を生み出し、食品ロスやごみ問題などが生じた。(9)
- (10) キリスト教、仏教、イスラム教など、人々が信仰している教えのことを何というか。
文化の多様性を生み出す源泉となっている。(10)
- (11) 音楽、絵画、彫刻など、私たちにやすらぎや感動などを与えてくれるものを何というか。(11)
- (12) 正月や節分など、季節に合わせて行われる行事のことを何というか。
3月のひな祭りや5月の端午の節句、11月の七五三などが含まれる。(12)
- (13) 長い年月をかけて暮らしの中であらわれてきた衣食住などの生活文化や、歌舞伎や能などの芸能などをまとめて何というか。(13)
- (14) 人間は集団の中で、他者とともに生きることで成長していくことから、何とよばれているか。
家族・地域社会・学校などを社会集団という。(14)
- (15) 親と未婚の子ども、または夫婦のみからなる家族を何というか。(15)
- (16) 日本国憲法では家族に関する基本的な原則として個人の尊厳と何を定めているか。(16)
- (17) 考え方や意見の違いから人々の間で起こることを何というか。
話し合いなどを通じて合意をめざす。(17)
- (18) ものの売り買いにおいて、買い手と売り手の利害が一致したときに成立するものを何というか。
責任や義務を明記することが大切である。(18)
- (19) (17)から合意へのプロセスにおいて、資源や時間などができるだけむだなく使われることをもとにした観点を何というか。(19)
- (20) (17)から合意へのプロセスにおいて、一部の人の不利になっていないか、対等な立場で話し合いに参加できているかという観点を何というか。(20)

学習1

学習2

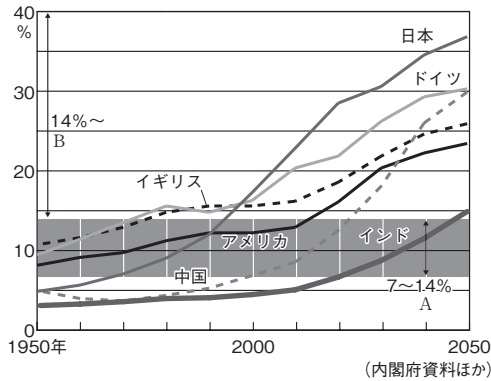
学習3

基本問題

1 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 図1中の国のうち、2050年の時点で、最も高齢化率が高くなると予測されている国はどこか。
- (2) 図1中のA、Bは「高齢化社会」または「高齢社会」のいずれかを示している。「高齢社会」を示しているのはどちらか。
- (3) 日本が図1のような傾向にある理由を、次のア～ウから選びなさい。

図1 各国の高齢化率の推移と将来推計

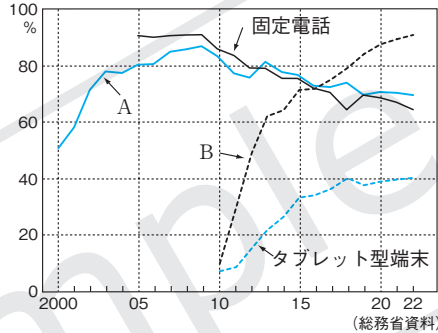


- ア 生まれる子どもの数に変化がない。
- イ 生まれてくる子どもの数が少なくなったので、高齢化率の伸びが大きい。
- ウ 生まれてくる子どもの数が多くなったので、高齢化率の伸びが小さい。

□(4) 図2のA・Bにあてはまるものを、次のア～ウから選びなさい。

- ア パソコン
- イ FAX
- ウ スマートフォン

図2 主な情報通信機器の保有率の推移



□(5) 図2を見て、2022年のタブレット型端末の保有率は約何%か。

□(6) インターネットの普及により、人々の暮らし

はどのように変わったか。あてはまるものを、次のア～エから選びなさい。

- ア 年少人口の割合が低く老年人口の割合が高い、少子高齢社会になった。
- イ 高度経済成長とよばれるいちじるしい発展をとげるようになった。
- ウ 世界のさまざまなところで自然災害や戦争が起こるようになった。
- エ 商品やチケットの購入が簡単に行われるようになった。

(7) 次の①～③にあてはまる語句を、下のア～ウから選びなさい。

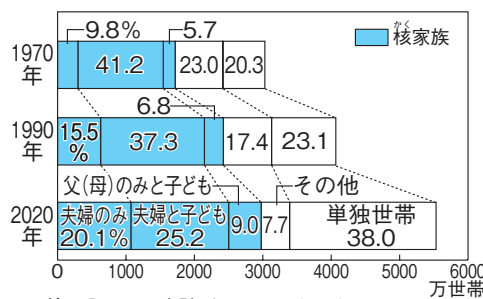
- ① 情報を使う考え方や態度のこと。
- ② 情報を正しく判断して活用する能力のこと。
- ③ コンピューターを使う能力の差によって、必要な情報を得られる人と得られない人に分かれる問題。

- ア 情報リテラシー イ デジタル・ディバイド ウ 情報モラル

2 右の図を見て、あとの問いに答えなさい。

- (1) 家族のように、さまざまな人が属する集まりのことを何というか。
- (2) 2020年の核家族の世帯は、全体の何%を占めているか。
- (3) 核家族の世帯のなかで、1970年から2020年にかけて、最も増えている世代は何か。
- (4) 全世帯のなかで、1970年から2020年にかけて、最も増えている世代は何か。

家族構成の変化



※四捨五入により合計が100%にならない。
(国立社会保障・人口問題研究所資料)

1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	A
(4)	B
(5)	約 %
(6)	
(7)	①
(7)	②
(7)	③

2

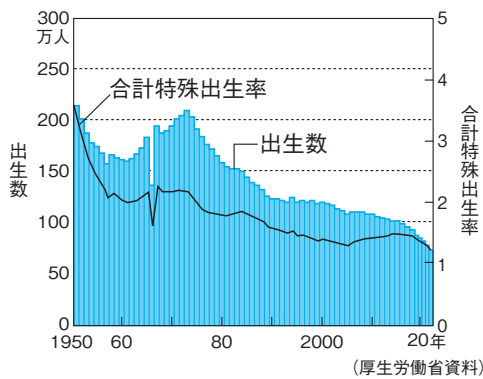
(1)	
(2)	%
(3)	
(4)	

練習問題

1 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 図1のように、生まれる子どもの数が減り、平均寿命がのびて人口に占める高齢者の割合が高くなる社会を何というか。
- (2) 合計特殊出生率が減っている原因として考えられることを、次のア～エから2つ選びなさい。
- ア 結婚しない人が増えたこと。
イ 平均寿命がのびたこと。
ウ 祖父母と同居する家族が増えたこと。
エ 仕事と子育てを両立する環境が整っていないこと。

図1 子どもの出生数と合計特殊出生率の推移



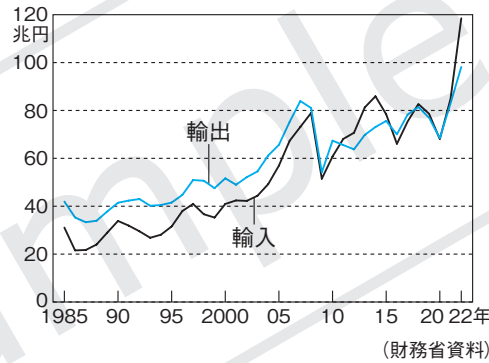
(厚生労働省資料)
一人の女性が生涯に生む子どもの数の平均を、合計特殊出生率という。

1	
2	•
3	
4	

- (3) **表現力** 図1から考えて、今後日本の総人口はどうなっていくと考えられるか。
- (4) 図2を見て述べた文として誤っているものを、次のア～エから選びなさい。

- ア 1985年から2005年の間は、輸出超過だった。
イ 2005年から2010年の間に、輸出額も輸入額も大きくおちこんだ年がある。
ウ 2010年から2015年の間は、輸入超過の年が多かった。
エ 2022年は、輸出額も輸入額も、1985年の3倍以上になった。

図2 日本の輸出額と輸入額の推移



2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

近年、情報通信技術 (①) が進歩したことにより、情報のはたらきが大きな意味をもつようになる。①情報化が進み、②たぐさんの人、もの、お金、情報などが自由に行き交い、世界の一体化の傾向が強くなった。

世界規模のさまざまな課題を解決していくため、現在の世代の幸福だけでなく、将来の世代の幸福もみたく (②) な社会をめざす必要がある。また、このような社会を実現するためには、私たち一人一人が社会 (③) をしていくことが重要である。

- (1) 文中の①にあてはまる、「情報通信技術」の略称をアルファベットで書きなさい。
- (2) 下線部②が進んだことにより、人間に代わって [] がビッグデータを処理し、さまざまな判断を行えるようになっている。[] にあてはまる語句を書きなさい。
- (3) 下線部③について、次の文中のA～Cにあてはまる語句を書きなさい。

たぐさんの人、もの、お金、情報などが国境を越えて自由に行き交うことで、(A) 化が進み、国や企業間の競争がはげしくなっている。また、各国の間では、得意な産業の製品を輸出し、不得意な産業については輸入にたよる国際的な (B) の動きが加速している。一方で、地球温暖化などの国際的な課題については、各国が力を合わせて解決するため、国際 (C) の必要性が増してきている。

- (4) (②) にあてはまる語句を漢字4字、(③) にあてはまる語句を漢字2字で書きなさい。

2	
1	
2	
3	A
	B
	C
4	②
	③

③ 次の表を見て、あとの問いに答えなさい。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
初詣	A	ひな祭り	花祭り	B	更衣	C	お盆	お月見	更衣	D	大みそか

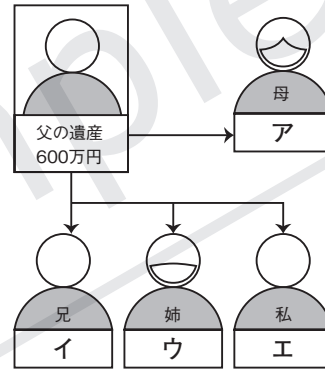
- (1) 表のように、毎年同じ時期に行われる行事を何というか。
- (2) 表中のA～Dにあてはまる行事を、次のア～エから選びなさい。
ア 七夕 イ 端午の節句 ウ 七五三 エ 節分
- (3) 能や歌舞伎のように、古くから受けつがれてきた文化を何というか。
- (4) 次の文化の領域を何というか。
- ① 医療や金属の加工などの技術を支える理論。
- ② 人の心の支えとなる、神についての教え。
- ③ 人の生活を豊かにする、絵画や音楽、演劇など。
- (5) 次の文中の()にあてはまる語句を漢字3字で書きなさい。
私たちは、自分たちの文化だけでなく、異なる文化も大切にし、文化の()を尊重していかなければならない。

③

(1)	
(2)	A
	B
	C
	D
(3)	
(4)	①
	②
	③
(5)	

④ 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 図中のア～エのうち、相続額が最も大きい人を1人選びなさい。なお、遺言などの特別な条件はないものとする。
- (2) 家族や個人について、次の文中の①、②にあてはまる語句を書きなさい。
日本国憲法では、家族に関することは、「個人の尊厳と両性の本質的(①)」の考えに基づくとして定めている。また、日本国憲法では、一人一人がかけがえのない存在という「個人の(②)」を強調している。



④

(1)	
(2)	①
	②

⑤ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

人は多様な考え方や利害をもちながら生きているため、意見の違いから対立が起きることがある。そのままでは社会はうまくいかないため、^a話し合いや交渉を通じて、^b合意をつくり出すことが必要となる。

対立と合意をくり返し、同じようなやり方や基準での解決が合意されると、それが(①)となる。①をつくる時には、たがいの(②)を尊重し合うことが大切であり、みんなで合意して決めたものであれば、守るという(③)が生じてくる。

- (1) 文中の①～③にあてはまる語句を、次のア～ウから選びなさい。
ア 権利 イ 責任 ウ きまり(ルール)
- (2) **表現力** 下線部^aで行われる決め方について、次の文中の()にあてはまる内容を書きなさい。
全員一致は、()ため、合意するまでに時間がかかる。
- (3) 下線部^bについて、より良い合意をつくるために必要な、次の①・②の考え方をそれぞれ何というか。
- ① むだが多く、最大の利益を得られるような結果になっているかを大切にする。
- ② 個人の意見を尊重し、一人一人に最大限配慮したものになっているかを問う。

⑤

(1)	①
	②
	③
(2)	
(3)	①
	②